

日本コラージュ療法学会 ワークショップ - 2023 のご案内

本ワークショップでは、コラージュ療法への理解を深めていただくため、午前と午後それぞれに1コースずつ選択し、計2コース受講していただく形式としました。皆様の積極的なご参加をお待ち致しております。

I. ワークショップ概要

日時： 2023年12月9日(土) 10:00~16:30 (受付開始 9:30)

会場：龍谷大学大宮キャンパス 東翼(とうこう：東校舎)

- ・JR 東海道線・近鉄京都線・京都市地下鉄烏丸線「京都」駅下車、北西へ徒歩約15分
- ・JR 山陰本線(嵯峨野線)「梅小路京都西」駅下車、北東へ徒歩約10分
- ・京阪本線「七条」駅下車、西へ徒歩約20分
- ・阪急京都本線「大宮」駅下車、南へ徒歩約20分(市バス約5分)
- ・最寄りのバス停 市バス「七条堀川」

講師：(50音順・敬称略)

午前：A 今村友木子(金城学院大学)

B 加藤 大樹(金城学院大学)

C 牧田 浩一(北星学園大学)

D 森谷 寛之(京都文教大学・名誉教授/京都コラージュ療法研究所)

午後：E 大前 玲子(阪神 wara ICP)

F 西村 喜文(西九州大学)

G 東 知幸(文京学院大学)

H 山上 榮子(森脇神経内科)

II. ワークショップ参加の申し込み方法

<申し込み手続き>

スマートフォンまたはPCで申し込みフォームにアクセスし、回答をご入力ください。フォームへの入力ができない場合はメールでお申し込みください。

<https://forms.gle/HBxVgXxLWkK6h9Pf6>

E-mail: collage.conference@gmail.com

<申し込み締切日>

予約参加申込期限：2023年10月10日(火)

定員になり次第締め切ります。

参加の可否はメールでお知らせいたします。



ワークショップ申し込みフォーム

III. 参加費

*会員 一般：5,000円 大学院生：3,000円

*非会員 一般：6,000円 大学院生：4,000円

*懇親会 5,000円

懇親会はキャンパス内にて17時より開催します。

9:30	10:00-12:30	12:30-14:00	14:00-16:30	17:00-19:00
受付	ワークショップ 1 A～D コース	昼休み	ワークショップ 2 E～H コース	*懇親会

<受講料振込みについて>

参加の可否について準備委員会から連絡を受けてから、下の口座に参加費の振り込みをお願いします。郵便局備え付け用紙をご利用いただくかネット振込などをご活用ください。払込人氏名と参加者名が一致するようにお願いします。振込みが確認できませんと受付が完了したことになりませんのでご注意ください。

第 15 回大会，ワークショップ，懇親会の参加費用を合算して申し込む場合は，合計額にお間違いがないかよく確認し，振込通信欄またはメールで合算した費目をお知らせください。

【振込先】

ゆうちょ銀行

口座番号：00850-4-73295

加入者名：日本コラーゲ療法学会大会準備委員会

*他の金融機関からの振り込み用口座情報

金融機関名 ゆうちょ銀行 金融機関コード 9900

店番 089 預金種目 当座 店名 ○八九 店 (ゼロハチキユウ店)

口座番号 0073295

IV. コース概要

<定員> E コース 15 名， G コース 20 名， その他のコース 35 名。

<持ち物> 制作実習のあるコースでは，指定された持ち物をご確認ください。
昼食は各自でご準備ください。

【ワークショップ 1】 次の A～D から希望のコースを選んでください。

A コース 「材料から考えるコラーゲ療法」

講師：今村 友木子（金城学院大学）

皆さんは，コラーゲ療法を実施する際，これまでどのような材料を，どのように準備し使用してきましたか？コラーゲ療法の材料は，箱庭療法における「玩具」にあたりますが，「幅広い材料」に加えて「クライアントさんにあったもの」を選ぶということは，簡単なようでありながら，様々な配慮を必要としています。今回のワークショップでは，「コラーゲ療法基本材料シート集」を使用した制作体験をしていただき，“材料の種類”“気をつけて集めておきたい材料”“クライアントさんに合わせて選ぶポイント”などについて解説を加えたいと思います。

【制作実習あり】 糊，はさみを持参してください。クレヨンなども使用したい方はご持参ください。その他の材料は持参する必要はありません。

B コース 「コラーゲ療法と論文執筆」

講師：加藤 大樹（金城学院大学）

修士論文などで，コラーゲ療法をはじめとした芸術療法や投影描画法を研究テーマに選ばれる方も多くいると思います。また，ご自身の実践の成果を学会発表や論文の形でまとめてみたいと考えている方もいらっしゃると思います。本ワークショップでは，基礎研究を中心に，先行研究のレビューと目的の設定，研究計画の立て方，分析の選び方と考察のポイントなど，論文執筆のための基本的なスキルを

学ぶことを目的とします。研究成果を正しく「伝える」ためにはどのような点に気をつければよいのかを具体例をもとに学び、修士論文・博士論文・投稿論文などの執筆に役立つ知識を身につける機会にしましょう。

*講義のため制作実習は行いません。

C コース 「子どものコラージュ療法」

講師：牧田 浩一（北星学園大学）

本 WS では、講義・事例研究とディスカッションを通して子どものコラージュ療法を学びます。WS は 2 部構成とします。第 1 部は、コラージュ療法の基礎理論を学びます。そこにはコラージュ療法家自身の発達・成長が大切であるため、講師がどのような臨床歴を歩み、研鑽を積んできたのかについてもお話しします。第 2 部は子どものコラージュ療法の事例を呈示し、コラージュ療法の実際を学びます。心理アセスメント、治療構造の設定、コラージュ療法への導入法、不安を示すクライアントへの接近法、セラピストのクライアントへの態度や多職種連携などを議論します。ディスカッションでは、参加者の皆様からの積極的な発言を歓迎します。

*講師による事例紹介を含んだ講義です。制作実習は行いません

D コース 「コラージュの制作実習体験とその意味」

講師：森谷 寛之（京都文教大学・名誉教授／京都コラージュ療法研究所）

心理臨床家になるには心理学の幅広い知識は必須である。それだけではなく教育過程で何らかの形で無意識に触れる体験も必須である。「何も考えないで、心の赴くまま絵や写真を切り貼りして遊ぶ」体験は無意識への接近法として非常に有効である。その作品はロールプレイにも活用できるし、作品はアセスメント対象として意識と無意識の関係についても考えることができる。コラージュ制作を通して理論と体験が結びつくような機会としたい。

【制作実習あり】 身近にある親しんでいる雑誌やパンフレットなどで切り抜いてもよいものを 2, 3 冊と、糊、はさみを持参してください。

【ワークショップ 2】 次の E~H から希望のコースを選んでください。

E コース 「コラージュによる認知物語療法—自分で読み解くコラージュ表現—」

講師：大前 玲子（阪神 wara ICP）

認知療法とイメージ表現療法の統合的アプローチとして考案した認知物語療法を用いて、コラージュ作品を自分で読み解くというデモ体験をします。これは、コラージュ作品を自己理解へ導くための一つの方法です。この方法の特徴は、従来のコラージュ療法に認知物語療法を付加することによって、クライアント自ら心理的課題に気づくことを促進することです。心理的課題に気づき、そのような過程を通してクライアント自身が自己理解へ導かれる方法なのです。当日は、コラージュ作品を制作し、その後、認知物語療法を導入することで、自分の作ったコラージュ作品から自分へのメッセージを受け取ることが期待できます。

【制作実習あり】 切り抜いてもよい雑誌を 2, 3 冊とパンフレットなど、糊、はさみを持参のこと。持参の雑誌は参加者と共有することがあり得ることをご承知下さい。15 名までのグループで実施します。

F コース 「認知高齢者へのコラージュ療法の意義—情動機能への働きかけ」

講師：西村 喜文（西九州大学）

筆者は、グループホームで生活されている認知症高齢者の方々とコラージュ技法を用いて時間をかけながら継続的に関わる試みを実施した。その中で、感情の動きや作品のテーマがどのように変化していくのか心の動きに注目し、さらに認知症の中核症状との関係についても考えてみた。

そこで本ワークショップでは、グループホームで関わった事例を提示し、コラージュ作品から表現されている世界を「意味ある感情表現」として捉え、その中で主体的に展開される物語〔ストーリー〕に触れながら認知症高齢者の心の世界について考えてみたい。さらに、心理的支援の検証として、コラージュ技法の有効性についても触れてみたい。

【制作実習あり】切り抜いてもよい雑誌を2、3冊とパンフレットなど、糊、はさみを持参してください。

G コース 『人生グラフ with コラージュ』を用いたグループワーク体験

講師：東 知幸（文京学院大学）

『人生グラフ with コラージュ』（LGT+C）とは人生の浮き沈みをグラフで表現する人生グラフテスト（LGT）にコラージュ技法を組み合わせた課題を用いた心理的支援技法であり、生きがい感の向上、自我同一性の発展などの心理的効果が示唆されている。これまでの人生を振り返り、これからの生き方について考える良い機会になると思いますので、ぜひ一度体験してみてください。

【制作実習あり】鉛筆、消しゴム、はさみ、のり、切り抜いてもよい雑誌などを数冊（雑誌は他の参加者と共有する場合がありますのでご了承ください）をご持参ください。

H コース 「多次元的なコラージュ理解」

講師：山上 榮子（森脇神経内科）

さまざまな現場でコラージュ表現が提示された時、私たち受け手はどのように理解しようとするでしょうか？ともすれば完成された作品解釈だけに腐心していないかと、自戒を込めて思います。コラージュは制作者だけが作り上げたものではなく、制作の場や見守り手との関係性の中で表現されるものです。さらに、制作者自身も個を超えた集合としてのバックグラウンドを背負ってそこにいます。本ワークショップでは、エスノグラフィカル(民族学誌的)な視点を取り入れた上で、制作過程で生じる感情も含めた、多次元的で包括的なコラージュ理解を体験していただきます。

【制作実習あり】のり、はさみ、写真素材等を持参してください。

V. 受講資格

ワークショップの参加には、原則として日本コラージュ療法学会会員であることが必要です。ただし、非学会員でも公認心理師、臨床心理士の有資格者、臨床心理学を学んでいる大学院生、心理臨床・医療・教育・福祉・産業・司法（矯正）領域等で対人援助職に従事されている方は参加可能です。

<臨床心理士資格更新ポイントについて>

臨床心理士研修ポイントを申請するためには、午前と午後のワークショップに参加申し込みが必要です。午前午後の両方へ参加された場合に研修ポイントを資格認定協会へ申請を予定致しております（「日本臨床心理士資格認定協会が認める臨床心理学に関するワークショップまたは研修会」の分野に申請予定）。

<第15回大会・ワークショップに関する連絡先>

E-mail : collage.conference@gmail.com

〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町125番地の1

龍谷大学心理学部 森田喜治研究室内

日本コラージュ療法学会第15回大会準備委員会



龍谷大学アクセス map